

弘前城・三内丸山  
遺跡

2023

Photo by Kayoko



弘前城 (1)



弘前城 (2) 弘前古木名木ソメイヨシノ



弘前城 (3)



弘前城 (4)



弘前城 (5)



弘前城 (6)



弘前城(7) 岩木山



弘前城 (8)



弘前城 (9)



弘前城(10) 岩木山



三内丸山遺跡 (1)

### ムラのようす Map of the Village

三内丸山遺跡は、青森県にある縄文時代の拠点集落跡です。これまでの発掘調査で縄文時代前期中頃から中期水滸（紀元前1900年—紀元前2300年）の大量発掘がなされました。

多くの竪穴建物跡、掘立柱建物跡、大塚の遺物が出土されたが、大規模な墓土、大人の墓、子供の墓、土器作りのための粘土採取穴、環状配石墓、環状配石墓、道開跡などが確認されました。

出土動物の骨や魚の骨、植物や花粉からは、当時の自然環境を具体的に知る事ができます。

また、黒曜石は遠方から運ばれたもので、専門的な技術で加工されています。これは、縄文時代中期から後期にかけての縄文文化の特色の一つです。

この遺跡は、縄文時代の集落のありかや生活の様子を知る上で重要な役割を果たしています。

縄文時代 1958年



- 大型竪穴建物跡
- 竪穴建物跡
- 掘立柱建物跡
- 環状配石墓
- 子供の墓
- 大人の墓
- 墓土
- 道
- 鉄釘

### 特別史跡 三内丸山遺跡 案内 Special Historic Site Bannai Maruyama Site Information



- 1 大型掘立柱建物跡  
Large Pillar-Supported Building
- 2 大型竪穴建物跡  
Large Pit Building
- 3 子供の墓 (埋設土器)  
Children's Graves (Burial Jars)
- 4 北墓土  
North Mound
- 5 南墓土  
South Mound
- 6 環状配石墓 (土坑墓)  
Stone-Encircled Graves (Burial Pits)
- 7 南墓土  
South Mound
- 8 掘立柱建物 (立体表示)  
Pillar-Supported Buildings (3-D real-size model)
- 9 竪穴建物 (立体表示)  
Pit Buildings (3-D real-size model)
- 10 環状配石墓  
Stone-Encircled Graves
- 11 大型掘立柱建物 (立体表示)  
Large Pillar-Supported Building (3-D real-size model)
- 12 大型竪穴建物 (立体表示)  
Large Pit Building (3-D real-size model)

ピクニック広場  
Picnic Area

縄文時遊館  
Jomon Jiyukan

三内丸山遺跡 (2)



三内丸山遺跡 (3)



三内丸山遺跡 (4)

# 三内丸山遺跡へようこそ



特別史跡三内丸山遺跡は縄文時代前期中頃から中期にかけて（紀元前約3,900～2,200年）、長期間継続した大規模な集落跡です。1992年から大規模な発掘調査が行われ、竪穴建物跡、大型竪穴建物跡、大人と子供の墓、盛土、大型掘立柱建物跡、掘立柱建物跡、貯蔵穴、粘土採掘穴、道路跡などが見つかかり、集落の様子と当時の環境が明らかになりました。

また、膨大な量の土器、石器、土偶、土製品、石製品、掘り棒などの木製品、漆器、縄文ポシエットと編布、骨角器などが出土し、他地域から持ち込まれたヒスイや黒曜石なども見つかっています。

2000年11月に国の特別史跡に指定されました。



遺跡全観

Welcome to the Sannai-Maruyama Site

The Sannai-Maruyama Special Historic Site features the remains of a large, long-term settlement from the Early and Middle Jomon Period (3,900 - 2,200 BCE). Excavations began in 1992 and revealed details about this settlement and the environment in the Jomon Period.

A large number of pottery and stone artifacts have been found at this site, which was designated a special historic site by the Japanese government in November, 2000.

欢迎参观三内丸山遗址

特别史迹三内丸山遗址是从绳文时代前期中叶持续到中期（公元前约3,900～2,200年）的大规模村落遗址，其考古发掘工作始于1992年，村落当时的面貌与环境自此为世人所知。

此外，还出土了大量的陶器和石器 etc 文物。

该遗址于2000年11月被指定为国家特别史迹。

산나이마루야마 유적에 오신 것을 환영합니다.

특별 사적 산나이마루야마 유적은 기원전 약 3,900-2,200년 전인 조몬 시대 전기 중엽부터 중기에 걸쳐 오랜 기간 형성된 대규모 취락지입니다. 1992년부터 발굴 조사를 실시하여 마을 모습과 당시의 생활 환경을 밝혀냈으며 방대한 양의 토기와 석기 등이 출토되고 있습니다. 2000년 11월에는 국가 특별 사적으로 지정되었습니다.



三内丸山遺跡 (6)



三内丸山遺跡 (7)



三内丸山遺跡 (8)



三内丸山遺跡 (9)



三内丸山遺跡 (10)



三内丸山遺跡 (11)



三内丸山遺跡 (12)



三内丸山遺跡 (13)

### ③ 竪穴建物の復元



竪穴建物



茅葺き仕立



土葺き仕立 / 茅葺き仕立 (左)

竪穴建物は地面を掘って床を作り、柱を立て、屋根をかけています。縄文時代中期（紀元前約3,000年）の竪穴建物を復元しており、屋根は発掘調査の結果や民族例を参考に、茅葺き、樹皮葺き、土葺きの3種類で復元しています。時代によって、平面形、柱の配置、炉の位置や構造に違いが見られます。

#### Reconstructed Pit Buildings

Pit buildings are composed of pillars and a roof raised over a floor dug into the ground. The pit buildings reconstructed here are from the Middle Jomon Period (3,000 BCE).

#### 半地穴式房屋の复原

半地穴式房屋是指在地面挖掘坑穴作为房屋的地板，再埋设立柱，并在立柱上加盖屋顶的房屋。我们对绳文时代中期（公元前约3,000年）的半地穴式房屋进行了复原。

#### 복원된 움집

움집은 땅을 파서 바닥을 다진 뒤 기둥을 세우고 그 위에 지붕을 얹어 만든 것입니다. 이 곳에는 조몬 시대 중기에 해당되는 기원전 약 3,000년대의 움집을 복원하였습니다.

三内丸山遺跡 (14)



三内丸山遺跡 (15)



## ② 南盛土



盛土断面



調査風景

盛土は竪穴建物や穴などを掘ったときの土やゴミ、焼けた土や炭、石器や壊れた土器などが同じ場所に長期間継続して棄てられ、小山のように盛り上がっており、現在、北盛土・南盛土・西盛土の3カ所が確認されています。北盛土や南盛土では土偶が特に多く見つかっています。

### South Mound

Mounds are slightly elevated patches of ground formed by the long-term disposal of dirt and waste from the construction of pit buildings or the digging of holes, as well as the disposal of burnt earth, used coals, stone artifacts, and potsherds.

### 南面填土

填土是指将挖掘半地穴式房屋或坑穴时挖出的土、废物垃圾、烧焦的土、炭灰、石器、破损的陶器等长期连续丢弃至同一场所而形成的小山丘。

### 남쪽 흙무지

흙무지는 움집, 구멍을 팔 때 나오는 흙이나 쓰레기, 불탄 흙, 숯, 석기, 깨진 토기 등을 일정 장소에 버려 오랜 기간 쌓인 것이 동산처럼 솟아오른 곳입니다.





三内丸山遺跡 (17)



三内丸山遺跡 (18)